

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	膀胱出口部閉塞が疑われる患者における臨床所見についての後方視的研究
研究責任者	大塚篤史
研究機関名	浜松医科大学泌尿器科
研究目的と意義	膀胱出口部閉塞の疑われる前立腺肥大症患者の各種パラメーターを後方視的に評価することで、実臨床における各種検査の有用性について検討する。
研究期間	西暦 2015 年 5 月（倫理委員会承認後） ～ 2020 年 3 月
研究方法	<p>●対象となる患者さん：</p> <p>2009 年 1 月から 2015 年 3 月までに泌尿器科を受診し、膀胱出口部閉塞の疑われた前立腺肥大症患者さん</p> <p>●研究に使用する試料：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際前立腺症状スコア（IPSS） ・ 過活動膀胱症状スコア（OABSS） ・ 尿流測定 ・ 残尿測定 ・ 超音波検査（経腹または経直腸） ・ 尿流動態検査 ・ 血液検査 <p>●研究方法</p> <p>上記評価項目について診療録を後方視的に解析する。</p>
問い合わせ先	<p>〒431-3125 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号</p> <p>浜松医科大学医学部附属病院</p> <p>診療科：泌尿器科</p> <p>担当者：大塚篤史</p> <p>TEL：053-435-2306 FAX：053-435-2305</p> <p>E-mail：otsuka@hama-med.ac.jp</p>